

◎ニトロダームTTS 〔外〕

【重要度】 【一般製剤名】ニトログリセリン (U) Nitroglycerin 【分類】経皮吸収ニトログリセリン製剤

【単位】◎ニトロダーム 25mg/枚

【常用量】1回1枚〔効果不十分な場合は1回2枚〕

【用法】1日1回

【透析患者への投与方法】常用量 (3,6)

【保存期CKD患者への投与方法】常用量 (3,12)

【特徴】肝臓での初回通過効果を受けず、生物学的利用率が高い。貼付後速やかに経皮吸収され、その作用が長時間持続し、剥離後速やかに消失する。狭心症の発作予防と治療のみならず、急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）にも有効である。

【主な副作用・毒性】動悸、血圧低下、頭痛、頭重感、貼付部位の皮膚症状、めまい、熱感、起立性低血圧、心拍出量の低下、徐脈、悪心、嘔吐、全身倦怠感、口渇など

【F】貼付剤72% (13)

【tmax】2hr～除去するまで (1) 3～4hr (13)

【代謝】肝代謝。初回通過効果がなく皮膚から吸収された後、静脈内移行し、直接心・血管系に作用する (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率1%以下 (13)

【CL】21L/min (10) 230mL/min/kg (15) 196mL/min/kg (13)

【t1/2】剥離後40min (1)

【蛋白結合率】60% (11)

【Vd】3.3L/kg (13)

【MW】227.09

【透析性】脂溶性が高くVdも大きいため、透析では除去されにくいと思われる (5)

【TDMのポイント】有効血中濃度域1.2～11ng/mL (15) TDMの対象にならない【O/W係数】高い (11)

【相互作用】PDE5阻害剤との併用禁忌 (1)

【作用発現時間】ニトロダーム 約30min

【作用持続時間】ニトロダーム 約12hr

【備考】重篤な低血圧又は心原性ショックの患者（血圧低下による症状悪化）、閉塞隅角緑内障の患者（眼圧上昇）、頭部外傷又は脳出血の患者（頭蓋内圧上昇）、高度な貧血の患者（血圧低下による貧血症状の悪化）には禁忌

【更新日】20250528

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。